

瀬戸市の地域支え合い現況報告



社会福祉法人瀬戸市社会福祉協議会 地域支援グループ
主査 山城美希（瀬戸市 第一層生活支援コーディネーター）

○ 瀬戸市老人福祉計画・介護保険事業計画 ～やすらぎプラン2015～

基本理念
基本目標

…「高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる社会の実現」

- …
- (1) 住み慣れた環境で活躍できる社会の実現
 - (2) 積極的に健康づくりに取り組む社会の実現
 - (3) **身近な地域における生活の継続支援**

← ①介護予防・日常生活支援総合事業の構築

②介護予防事業の推進

③**介護予防・生活支援サービスの体制整備**

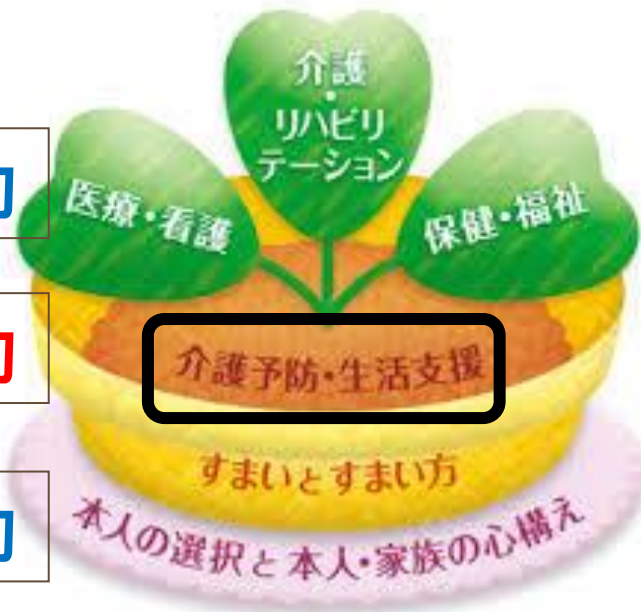
(生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置)

- (4) 尊厳を持って豊かに暮らせるよう地域で支えあえる社会の実現
- (5) 認知症の早期発見・早期治療と認知症高齢者への支援
- (6) 安心できる医療と介護の連携
- (7) 介護保険事業の円滑な実施に向けた社会の実現

公助

互助

自助



介護保険法 第四条 国民の努力及び義務

国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに...

社会福祉法 第4条 地域福祉の推進

地域住民、社会福祉を目的とする事業を經營する者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し...

多様な主体による生活支援サービスの重層的な提供

○高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築を支援



- ・介護支援ボランティアポイント等を組み込んだ地域の自助・互助の好取組を全国展開
- ・「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」の配置や協議体の設置などに対する支援

生活支援サービスの提供イメージ



事業主体

民間企業

NPO

協同組合

社会福祉法人

ボランティア

等

バックアップ

市町村を核とした支援体制の充実・強化（コーディネーターの配置、協議体の設置等を通じた住民ニーズとサービス資源のマッチング、情報集約等）



民間とも協働して支援体制を構築

○ 生活支援コーディネーターと協議体の圏域（階層）

<生活支援コーディネーターの役割>

市全域へサービス開発・普及や基盤整備を推進



日常生活圏域のサービス提供団体間の連携協働を促進



活動やサービス提供組織において利用者への支援や調整を行う

元気な高齢者などが
担い手・支え手として
活躍できる場づくり

市全域

第1層

日常生活圏域
(例:中学校区)

第2層

サービス
提供組織

第3層

<協議体>

協議体の構成(多様な主体の参画)

シルバー人材センター・社会福祉協議会・地区社協・
瀬介協・瀬老連・瀬自連・民児協・NPO・基幹型包
括支援センター・学識経験者・生活支援CN

地域包括支援センター・地縁組織・地域力・地区社
協・民児協・事業所 など

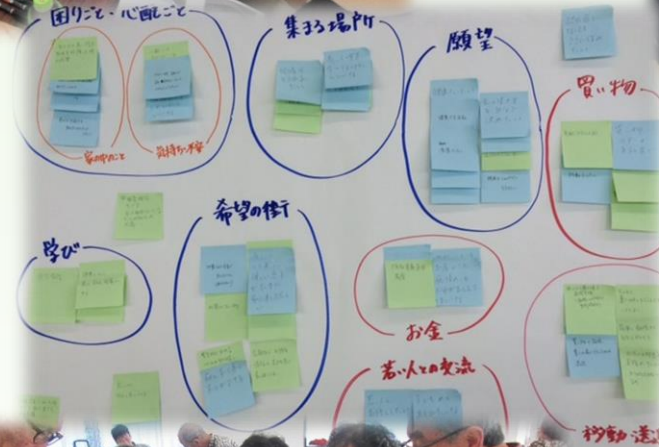
町内会・地域力・民児協・地区社協・老人クラブ・町
内子ども会・保健推進員・婦人会・NPO・ボラン
ティア・事業所 など

生活支援コーディネーター活動内容（集計） 平成28年5月～平成29年2月

事 業 内 容		活 動 内 容	打 合 せ	会 議 参 加	現 状 把 握 活 動
(１) 資源の把握及び開発	ア．現状の社会資源の把握及び分析	①生活支援サービスの活動の把握	8	18	13
		②類するサービスの活動の把握	3	9	14
	イ．地域に不足するサービス・支援の創出	③既存団体への生活支援サービス開始に向けた働きかけ	6	4	2
	ウ．高齢者の通いの場及び活動の場の開発	④サロン立ち上げに向けた働きかけ	2	1	3
(２) ネットワーク構築	ア．関係者間の情報共有	⑤地域連携の調整	22	15	20
		⑥地域連携への働きかけ	9	20	8
	イ．サービス提供主体間の連携の体制作り	⑦協議体開催への参加・協力	1	1	8
(３) ニーズと取り組みのマッチング	ア．地域ニーズの調査	⑧地域ニーズの把握・情報収集	6	9	19
		⑨地域ニーズの整理・リスト化	1		
	イ．地域ケア会議に参加し、地域課題の解決に向け提案	⑩地域ケア会議参加		4	
		⑪地域課題の把握		5	7
		⑫地域課題に対する提案内容	6	1	
(４) サービスの担い手の養成	ア．生活支援サポーターの養成	⑬サポーター養成講座の開催			
		⑭講座修了者のフォロー			
	イ．サロン・カフェ等ボランティアの支援	⑮サロン・カフェ等ボランティアの把握	2		3
		⑯ボランティアの支援		1	1
合 計			66	88	98

○ 活動の様子

- ・ 地区社協役員研修
- ・ 地区社協別研修
- ・ にっこりカフェ（地域力）
- ・ ご近所交流サロン（地域力）
- ・ 職員研修 など



◆地区社協別研修結果（ワークシート：地区社協としてできることを具体的に）

	地区 社協	日にち	会場	参加 者数	地区社協としてできること			
1	陶原	平成28年8月31日	陶原公民館	21名	気軽に集える場所づくり	マンションの方との交流 地区社協を理解してもら う	ラクラクコジャレ会	みなさんお元気隊
2	水南	平成28年9月5日	水南自治会館	12名	料理教室（特に男性）	集会所の活用 空き家の活用	居場所作り	
3	西陵	平成28年11月29日	西陵地域 交流センター	24名	社協活動の認知向上 (知りたい情報・伝えたい事 を住民全員に！)	今日行！今日用！今日 楽！ 居場所づくり	身近な居場所づくり	居場所づくり
4	幡山	平成28年12月12日	幡山公民館	16名	コミュニケーションの場作り	人とのつながりを作ろ う！	支援があるコミュニ ティ	
5	八幡台	平成28年12月17日	八幡集会所	20名	老人向け総合施設を作る！！	ふれあいモーニング&よ ろず相談コーナー	ちょっとヘルプ隊	お助け隊八幡
6	山口	平成29年1月26日	山口憩の家	12名	たまり場の提供	いこいの場所づくり		
7	古瀬戸	平成29年2月4日	古瀬戸公民館	23名	ぬくもり移動カフェ		買い物について	サロン
8	東明	平成29年2月14日	東明公民館	18名	集会所（各地域）を使ったふ れあいの場	コミュニケーション・集 まれる場所づくり	高齢者同士の相互扶 助・生活支援	

◇研修会後のアンケートから

(アンケート回収率81.6%)

* 参考になった...**93.1%**、参考にならなかった...**2%**、無回答...**4.9%**

- ・ (居場所) 町内別にでもできればいい
- ・ 地域の問題は同じように考えている
- ・ 活動の参考になる
- ・ 自分たちの活動を見直すきっかけになった
- ・ 交流する場づくりの必要性が共有できた
- ・ 男の居場所
- ・ 地域の問題が顕在化した

* 地域の課題に対して自分なら何ができますか

- ・ 一人暮らしの方や地域の見守り
- ・ 各団体の横のつながりを図る
- ・ できることの参加する
- ・ 日常の生活が困難な方への支援
- ・ 声掛け
- ・ ちょっとしたお手伝い (掃除や買い物など)
- ・ 今の活動を続ける

* その他

- ・ 現在の活動がイベント型なので、違うやり方にしていけたら
- ・ 若い世代にもこういう機会があれば
- ・ 地域の各団体の垣根を越えて動けるようになれば

これからの地区社協活動は・・・

イベント型の事業から課題対応型の事業への転換

- ・ ■まとめ

- ・ 1 だれもが住み慣れた地域で安心して生活を継続できる社会の実現に向けて、基盤整備を推進する。
- ・ 2 地域におけるつながりの減少や家族関係の希薄化により、地域の支え合い機能の低下が課題となっている現状を踏まえ、住民主体の「互助」を基本とした助け合い、支え合いの「地域づくり」を推進し、地域の力を高める。
- ・ 3 地域の高齢者などが「地域づくり」の担い手として社会参加し、継続して活躍できる仕組みを構築する。

- 4 地域の課題・高齢者などのニーズを把握し、社会資源につなげる仕組みや、不足する支援・担い手について多様な関係機関と連携し、生活支援サービスの充実を図る。
- 5 0歳から100歳までの「地域共生社会」の実現に向け、制度・分野の縦割りや「受け手」と「支え手」という関係を超え、だれもが「**我が事**」として参画し、「丸ごと」つながる瀬戸市へ

ご清聴ありがとうございました。